令和５年度　学校経営方針

新潟市立山の下中学校

【教育目標】　「**知識を求め　情操を豊かにし　進んで実践する生徒**」
【ｽｸｰﾙﾎﾟﾘｼｰ】　「**山中魂**」～　**正義　勇気　土根性**　～
【小中一貫して目指す子どもの姿】**目標をもって生活し，自分の考えを相手に伝える子ども**

１　当校の教育観（自分の力で未来を切り拓く生徒の育成）※学習指導要領の自校化

激しく変化する社会の中で，課題に対してプラス思考を働かせながら，自己のもつ資質・能力や知識，情操，体力を駆使して，納得解を生み出すことができる生徒を育む。

そのために，次の３点を柱とした教育活動・運営活動を推進する。

〇自ら考え，判断し，新たな価値や知識を生み出す個別最適な学び
〇支持的風土を醸成し，共に学び合い，支え合い，高め合う協働的な学び
〇「目標設定・アウトプット・活動形態の工夫・振り返り」を取り入れた活動

２　当校の実態と今後の方向性

(1) 当校の実態【成果①～⑤・課題⑥～⑧】　※Ｒ４学校評価の結果

① 素直で前向きな生徒が多い。全体に授業への取組がよく，話し合い活動に積極的に参加し，自分の考えを進んで伝えることができる生徒が増えている。
② 生徒が「あじみこ＋そ」を意識することで，基本的な生活習慣が定着している。きまりやマナーの意味を考え，正しく判断し，行動するなど，規範意識が育っている。
③ 生徒が認め合う関係づくりをすることで，支持的風土が醸成されている。人間関係がうまく構築できない生徒や不登校の生徒へ，きめ細かな個別対応をしている。
④ 将来の夢や目標をもたせるとともに，教育活動や行事では，目標設定から振り返りまでの取組を確実に実践し，生徒が達成感や自己有用感を実感している。
⑤ 個別の支援を要する生徒について，その都度対策を講じて対応している。その結果，チーム対応，保護者との連携，関係機関と連動した対応をすることができている。
⑥ 学習内容の理解が不十分な生徒，学習意欲が低下している生徒がいる。
⑦ メディアコントロール力の育成と家庭学習習慣の定着が喫緊の課題である。
⑧ Ｒ５～７年度の３年間で，部活動の休日の地域移行の方向性を検討する。併せて，平日の部活動の在り方について話し合い，方向性を探っていく。

(2) 今後の方向性【令和５年度の方向】　※Ｒ４成果の継続・課題の改善

① 「３つの柱からなる資質・能力」（知識及び技能，思考力・判断力・表現力，学びに向かう力・人間性）を伸長する。そのため，主体的に学習し，かかわり合う授業を実践する。
② 基本的生活習慣を確立するとともに，規範意識を醸成する。そのため，「スクールポリシー」や「あじみこ＋そ」を意識した学校生活を送らせる。
③ 支持的風土を醸成する。そのため，認め合い，高め合う活動を行う。関係づくりが苦手な生徒や不登校，不登校傾向の生徒に寄り添い，きめ細やかに対応する。

④ たくましくしなやかに生きる生徒を育てる。そのため，将来の夢や目標をもたせるとともに,「目標設定～振り返り」を取り入れて達成感や自己有用感を実感させる。

⑤ 特別な支援を要する生徒を全校体制で支援する。引き続き，個に応じた指導の工夫や関係機関との連携，情報共有により，組織的・継続的にチームで対応する。

⑥ 「学ぶ楽しさ，できる喜び」を生徒に味わわせる。そのため，研究推進部を中心に，「主体的・対話的で深い学び」がある授業研究を組織的・計画的に推進する。

⑦ メディアコントロール力を伸ばし，家庭学習習慣を定着させる。そのため，教育活動や運営活動では，分掌を超えて連携し，多面的な切り口から手立てを講じる。

⑧ 部活動の地域移行について，部活動顧問会，運営委員会を中心に検討を進める。

3　令和５年度の重点目標　　※教育ビジョンの４つの教育部の目標

(1)　主体的に学び合い，自分の考えをアウトプットできる生徒の育成（学力）

(2)　基本的な生活習慣の確立と自立する生徒の育成　　（心と体）

(3)　一人一人の個性が発揮される支援の工夫・充実　　（特別支援教育）

(4)　集団の中で，望ましい人間関係を築くことができる生徒の育成　（支持的風土）

4　目指す学校の姿　　※市ビジョンの自校化

(1)　生徒が主役の教育活動を行い，自己実現（夢や希望）や地域貢献ができる学校

(2)　「目標設定～振り返り」を取り入れた活動や行事で，生徒も教職員も笑顔で協働しながら最後までやり抜くことで，みんなが達成感や自己有用感を実感できる学校

(3)　スピード感のある誠実な対応が最大の誠意。教職員と保護者，地域がつながり，共に喜びを分かち合うことで，安全・安心で生徒・保護者・地域から信頼される学校

5　目指す教職員の姿　　※市ビジョンの自校化

(1) ワークライフバランスをとりながら，学び続ける魅力ある教職員

(2) 山の下中学校に誇りと愛着をもち，生徒・保護者・地域に信頼される教職員

(3) 笑顔とコミュニケーションを大切にし，同僚性・協働性を発揮する教職員

6　コミュニティスクールにより保護者・地域と共に歩む学校の姿　※市の方針

(1) 学校運営協議会を中心に，保護者・地域住民が学校運営に参画し，互いに知恵を出し合いながらよりよい学校づくりを目指す関係

(2) 会議や学校だより，ＨＰなどで教育理念や教育活動を情報発信し，保護者や地域住民と学校が，生徒の成長を共に考え，協働し，喜びを分かち合える関係

山の下中学校のホームページをご覧いただき，ありがとうございます。当校の教育活動につきまして，変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

新潟市立山の下中学校長　　武藤　雅雄